

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 日高市教育委員会(生涯学習課))

- ・ 生涯学習課では、新型コロナウイルス感染症発生以前の事業に戻すよう事業実施に取り組ましました。
- ・ 生涯学習担当としては、ひ・まわり探検隊を実施し延べ1,435名の参加がありました。また、二十歳のつどいでは426名の参加がありました。
- ・ 6公民館において、青少年を対象にした教育事業を令和5年度は、36教室、延べ841名の参加がありました。
- ・ スポーツ事業においては、第10回日高かわせみの里ツーデーウォークを開催し、2日間で4,936名の参加がありました。
- ・ 図書館事業においては、おはなしポケット、ビブリオバトル等の教室を開催しています。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 飯能警察署)

- ・ 4月 全小学校において、新一年生及び保護者に対し、不審者・交通安全指導及び、下校指導を実施しました。
- ・ 6月～11月 全小学生3年生を対象に、非行防止教室「フレンドリースクール」において、万引き防止指導、不審者に対する指導を実施(高萩北小学校は、保護者の参加あり)
- ・ 通年 学校や保護者からの不審者情報に基づく対応・通学路でのパトロールを実施しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市校長会(高根小))

- ・ いじめアンケートの実施 (学期に1回)
- ・ 個人面談の実施 (学期に1回)
- ・ 登下校の見守り
- ・ 主任児童委員、社会を明るくする会との情報交換
- ・ 人権教育の取組(標語・作文・やさしさの花・いじめ撲滅宣言等)
- ・ 校区内パトロールの実施
- ・ 凧づくり活動の実施
- ・ あいさつ運動の実施
- ・ 音楽の集いへの支援
- ・ 子どもを守る家 設置家庭への連絡と古いプレートの交換
- ・ 各関係機関との連携
(交通安全教室、フレンドリースクール、CAP学習(くれよん)、福祉体験(社会福祉協議会)、薬物乱用防止教室(飯能警察))

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市校長会(高萩北中))

○中学校での取組

- ・ いじめアンケートの実施 (生徒は学期に1回、保護者は年に1回)
- ・ 個人面談、三者面談の実施
- ・ 民生委員・主任児童委員との懇談会、区長会との情報交換
- ・ 人権学習 (いじめ撲滅宣言、人権カレンダー制作、学年別人権学習、弁護士によるいじめについての授業)
- ・ 生徒指導部会 (校内での情報共有)

○小中で連携した活動

- ・ 児童会・生徒会の連携による小中合同あいさつ運動の実施
「あいさつ weeks の実施」
「ふわふわ言葉を広げよう、ふわふわ言葉の木をつくろう」
- ・ 中学生による小6児童への中学校生活の説明会、体育祭に招待
- ・ 小中歌の交流会
- ・ ふるさと科 (オリジナル高麗鍋づくり・おもちゃづくり)
- ・ 小中合同河川清掃
- ・ 小中合同での学校保健委員会の開催

○PTAとの活動

- ・ PTA、生徒による環境整備活動 (花植え、除草)
- ・ PTA、教員合同の下校パトロール、運動会の見守り・夜間パトロール
- ・ PTAあいさつ運動

○健全育成の会との活動

- ・ あいさつ標語の作成
- ・ 子どもを守る家の設置
- ・ 青少年健全育成の会主催の地域懇談会 (情報交換会) の実施
- ・ 青少年健全育成の会主催の行事の実施
地域清掃、花植え、クリスマス会、古民家コンサート、スポレク大会
卒業講話、薬物乱用防止・非行防止啓発活動
- ・ 公民館文化祭への協力 (行事で作製した作品の展示)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市区長会)

- ・ 通学路交差点及び踏切付近等で、小学生下校時 (低学年主体) の見守り及び交通安全、あいさつの声かけを登校日は毎日実施しました。
- ・ 民生委員、児童委員さんとの情報交換
令和5年6月15日 (日) 高麗川公民館で民生委員・児童委員と意見交換

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 埼玉県川越児童相談所)

- 令和5年12月現在、虐待や障害、非行、育成等の相談3,882件について対応しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 県立日高高等学校)

- 青少年健全育成対策の一環として、生徒会を中心に朝の挨拶運動及びゴミ拾い活動(武蔵高萩駅～日高高校)を毎週木曜日の朝に行っています。
- 日高市ツデーウオークに生徒会から2名がボランティアで参加しました。
- 日高市生涯学習課と連携し、「ひ・まわり体験隊」の協力校として、夏休みに、サッカー部・卓球部・かるた部の部員たちと顧問教諭が、訪問した児童たちに各競技をていねいに教え、ともに楽しく活動しました。
- 赤い羽根共同募金、緑の羽根共同募金、書き損じはがき収集・寄付(ひとみ園)の協力活動に、生徒会を中心に取り組んでいます。
- 青少年育成日高市民会議との共催で、NPO法人埼玉ダルク様の御協力をいただき、7月に非行防止教室(薬物乱用防止について)を校内で開催しました。
- 埼玉県立大学の御協力をいただき、7月・12月に性教育講演会を実施しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; さいたま地方法務局所沢支局)

- 引き続き小・中学生からSOSミニレターを受け付けています。今年度は令和6年1月31日時点で管内5市から、52通の送付がありました。日高市については、市内の小・中学生から5通の送付がありましたが、いずれも当局で対応済みです。
- 管内中学生を対象に人権作文コンテストを実施しました。昨年12月16日に埼玉県大会の表彰式があり、日高市立高麗川中学校の生徒1名が最優秀賞、日高市立高麗中学校生徒1名が優秀賞を受賞しました。参加していただいた各中学校には、結果通知及び記念品等を順次送付させていただいています。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市いじめ問題専門委員会)

- 昨年度は2回、会議を開催し、いじめを初期の段階で把握するための方策や重大事態案件にならないための方策について検討しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名;市民生委員・児童委員協議会)

- ・ 小学生の登校時の見守り
- ・ 夏に、夜間パトロールの実施
- ・ 小・中学校花植えプロジェクト・中学地域清掃活動への協力参加
- ・ 地域区長さんとの情報交換会の実施
- ・ 日高塾・子供教室への参加
- ・ 市内・各小中学校、義務教育学校との連絡会議また主任児童委員が各学校との情報交換にあたり対応している。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市社会福祉協議会)

- ・ 夏休み期間を利用し、ボランティア体験プログラムを実施。143名（内訳：小学生2名、中学生109名、高校生21名、大人11名）の参加があり、保育施設、高齢者施設、障がい者施設、地域食堂等でのボランティア体験や環境保全活動、おうちでボランティア（自宅で作成したスポンジボールや新聞紙ゴミ箱等を施設に贈るボランティア）等を行った。
- ・ 市内小学校で福祉教育を実施。内容は福祉についての話を始め、車いす体験やブラインドウォーク体験の他、今年度は障がい平等研修（DET）、発達障がい理解講話を実施。
- ・ 地域食堂、子ども食堂を市内5団体が6ヶ所で実施。集まったの食事提供が再開できていない食堂もあるが、お弁当等を配布し地域のボランティアの方が子どもたちに声掛けを行っている。
- ・ 今年度も食の支援を必要とする世帯を対象に年8回フードパントリー（食料支援）を実施予定で1月までに7回開催。毎回150世帯以上の申込があり利用者の約半数が子育て世帯。
- ・ 埼玉県社会福祉協議会では学費等の捻出が困難な低所得世帯の生徒・学生に対し、教育支援資金（無利子）の貸付を実施している。相談・申込窓口は日高市社会福祉協議会で行っている。
- ・ 11月28日から3日間、中学生3名を職場体験学習受入。
- ・ 10月7日（土）日高市社協主催の「あいあいまつり」を4年ぶりに開催。コロナ以前は多くの中学生ボランティアが参加していたが、今回は市内中学校の体育祭と日にちが重なっていたため、中学生ボランティアの参加は無し。

(次ページあり)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市保護司会)

- 1 社会を明るくする運動
 - ・ 広報ひだか7月号に「社会を明るくする運動」の啓発と理解のためのPR文掲載
 - ・ 7月3日、市内小・中・高校に訪問し、啓発物資の配布及び情報交換 公民館に啓発品配布 市内大規模商業施設にて啓発物資の配布
 - ・ 11月11日、ひだか市民まつりにおいて啓発物品配布
- 2 薬物乱用防止等非行防止キャンペーン活動協力
- 3 愛の募金運動(更生保護女性会)への協力
- 4 更生保護女性会企画のミニ集会において、薬物乱用防止教室協力

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 青少年育成日高市民会議)

- ・ 7月 青少年の非行・被害防止特別強調月間に高麗川公民館とひだかアリーナに「横断幕」、市役所駐車場入り口に「懸垂幕」を設置。
- ・ 7月14日 県立日高高等学校において薬物乱用防止等非行防止キャンペーン(啓発用チラシ、ポケットティッシュを配布)及び青少年健全育成講演会を開催。
- ・ 7月21日 市内5中学校及び武蔵台小中学校において各中学校生徒と協力して薬物乱用防止等非行防止キャンペーンを実施。(啓発用チラシ、ポケットティッシュを配布)
- ・ 9月2日 「日高市音楽の集い」に協力。
- ・ 9～10月 各地区体育祭会場において薬物乱用等非行防止キャンペーンを実施。(啓発用ティッシュ配布)
- ・ 11月11・12日 市民まつり会場(ひだかアリーナ)にて薬物乱用防止啓発用ポケットティッシュ・チラシ等を配布、各地区青少年健全育成の会広報紙設置。
- ・ 11月19日 高麗の郷において青少年の主張大会開催、並びに『家族ふれあい』ポスターコンクールの作品展示。
- ・ 令和6年2月3日 手づくり凧揚げ大会に参加し、青少年健全育成等啓発活動(啓発用ティッシュ配布、「懸垂幕」設置)を実施予定。
- ・ 3月上旬 青少年の主張大会「作品集」及び広報誌「ハッピークローバー」を発行予定。

(次ページあり)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市 P T A 連 合 会 (高 麗 川 中 学 校 P T A))

- ・ 高麗川地区青少年健全育成の会と合同で、青少年健全育成対策としてパトロールを1回実施しました。
- ・ 高麗川地区青少年健全育成の会と合同で、薬物乱用防止キャンペーンを登校時に高麗川中学校の校門で実施しました。
- ・ 校外委員会を中心に本部、各委員会が協力して下校時のパトロールを毎月2～3回実施しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団 体 名 ; 市 子 ど も 会 育 成 連 絡 協 議 会)

- ・ 1月14日(日) 第33回ひだか郷土かるた大会を、ひだかアリーナで開催しました。参加者58名。
- ・ 3月10日(日) 第42回彩の国21世紀郷土かるた県大会をひだかアリーナで開催します。日高市からは、団体5チーム、個人5人が参加予定。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団 体 名 ; 市 青 少 年 相 談 員 協 議 会)

- ・ 秋のイベント実施…10月29(日)に小学3～6年生を対象に料理イベントを実施しました。参加者が少なかったものの、器具の準備から調理、片付けまで自己完結する力が磨かれました。(場所：高萩公民館)
- ・ 冬のイベント実施…1月21(日)に小学1～6年生を対象にドッジボール大会と餅つき大会を実施しました。通学区域や学年関係なく交流が促進できたこと、臼と杵を使った食文化を体験させることができました。
(場所：高麗川公民館・高麗川小学校体育館)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団 体 名 ; 市 青 少 年 育 成 推 進 員 会)

- ・ 青少年育成日高市民会議、地区の健全育成の会に協力。
- ・ 薬物乱用防止等非行防止キャンペーン
(地区体育祭等の会場で啓発品等配布)
- ・ 非行防止パトロール協力
- ・ 青少年の主張大会・家族ふれあいポスターコンクール協力
- ・ 手づくり凧揚げ大会へ参加
- ・ 学校訪問(武蔵台小中学校)など

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名；埼玉女子短期大学)

- 1 授業「マナーとホスピタリティ I II」：埼玉女子短期大学根幹の授業のひとつとして、「心の美人」を目指すことを目標とし、豊かな心の育成、他者を慮る心の育成を「マナーとホスピタリティ I II」の授業を通して1年間学ぶ教育プログラムを行っている。今年度も、「マナー・ホスピタリティ検定」を2月16日に実施の予定である。
- 2 森川・エアライン専門ゼミ 福島県塙町と協賛で池袋サンシャインシティにてダリアマルシェ主催 ダリア農園での作業、塙町のPR活動、SDGsに関する塙町との協働を行った。ゼミ活動の継続性を活かした「学食プロジェクト」では、従来の福島県の規格外野菜に加え、日高市の農園と提携し、自産地消費要素も取り入れた活動を行っている。規格野菜の有効利用や食品油の再利用等を具現化し、4度にわたる学食プロジェクトや、食用油の再利用としての大学祭ワークショップとキャンドルナイトを行っている。さらに、社会人基礎力グランプリ東北関東大会に今年度も出場予定である。こうした活動を通して豊かな心の育成、他者を慮る心、自信を持って自らの考えを発信する力の育成を目指している。
- 3 三ツ木専門ゼミは、「ちちぶアンバサダー」活動として、埼玉県秩父エリアと産学連携プロジェクトやちふれSAエルフェン埼玉との協賛で、VIPアテンド、オフィシャル冊子作成・配布を行った。さらに日高市との産学連携プロジェクトや、大宮アルディージャプロジェクト、埼玉トヨペットとの産学連携プロジェクトにも参加した。さらに、JTB川越×県庁×新井武平商店×みそぼてと本舗と新みそぼてと商品開発プロジェクトも行った。専門ゼミ（特別学外活動）の一環として、こうした企画・運営を通して豊かな心の育成、他者を慮る心、自信を持って自らの考えを発信する力、問題解決能力の育成を目指している。
- 4 大学祭では2日間、学内外の来場者も迎え、お笑いライブなどを行い、895名の来場者があった。さらに、ダンスフェスタエアライン専門ゼミによるSDGs啓蒙活動キャンドルナイトなどが催され、人と人のつながりを感じることができるプログラム運営となった。
- 5 小堺専門ゼミでは、国際ICT利用研究社学会 第8階全国大会に8名の学生が出場した。また、「昭和の町の感謝祭」として、産学連携による地域活性化活動にも取り組んだ。
- 6 医療・調剤コースの1,2年生は、医療業界の知識をふかめるため、病院見

学及び薬局見学を行った。安部医療専門ゼミでは、愛和病院助産婦の方々へインタビュー及び撮影を行った。

7 ブライダル、ウェディング・ファッションコースのゼミでは、アルカーサル川越迎賓館と氷川会館、品川プリンスホテルにて会場見学と業務内容のヒアリングを行い、企業研究の一環としている。